

整理番号	29003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月8日
事業担当課	廃棄物対策課

《基本情報》

事務事業名	ごみ収集現状分析・最適化事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	D1 脱炭素社会の実現をめざします		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	だれもが	脱炭素社会の実現へ向けて着実に取り組んでいる。	
個別施策	D1-1 地球温暖化対策の取組みを進めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	だれもが	地球温暖化対策に取り組んでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	直営地区の段階的な委託化等による収集地区毎の人口、世帯数のばらつき並びに新興団地及び集合住宅の建設による収集地区内での人口、世帯数の変動のため、地区及び曜日ごとに収集するごみ量にばらつきが生じ、それにより、市内のごみ発生総量に対して多くのごみ収集車両台数が必要となっており、非効率な状態である。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	車両の走行距離の最小化、減車等ごみ収集業務の最適化により、コストの縮減及びゼロカーボンシティ実現に向けたごみ収集車両から排出されるCO2削減を図る。
課題(どういふことをする必要のあるのか)	ごみステーション毎のごみ量や現状のごみ収集ルート等のデータを収集し、それを基に民間の専門的ノウハウを活用して分析を行い、地区割又は収集曜日の見直しによるごみ収集量の均一化及び収集ルートの最適化を行う。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>家庭ごみを収集しているごみ収集車両について、GPS機能を搭載したタブレット等を搭載することにより、ごみステーションごとのごみの量や現行の収集運搬ルート等のデータを収集し、データ集約・分析による地区割又は収集曜日の見直しによるごみ収集量の均一化及び収集ルートの最適化をAIを用いて行う。</p> <p>令和4年度 システム構築、現状分析・最適化業務 令和5年度 現状分析・最適化業務 令和7年度 ルート検証作業</p> <p>※5カ年契約としているごみ収集委託の更新が令和7年度からであるため、令和4年及び5年度に分析・最適化したデータをもとに、地区割、車両台数を定め、令和6年度に制限付一般競争入札を行う。 令和7年度においては、令和4年及び5年度に分析・最適化したデータが妥当なものかどうか、ごみ収集委託の新たな契約において実際にごみ収集車を走らせて検証することとしているため、令和6年度には現状分析・最適化業務は発生しない。</p> <p>【事業期間】令和4～5年度、7年度 【総事業費】49,834千円 【事業費内訳】令和4年度 委託費: 23,434千円 令和5年度 委託費: 13,200千円 令和7年度 委託費: 13,200千円</p>
<p>業務量の増減</p>	<p>令和4年度 47時間の増 (契約準備23.25時間、ごみ収集委託業者対応15.5時間、受注者との連絡調整7.75時間) 令和5年度 47時間の増 (ごみ収集委託業者対応7.75時間、分析・最適化データ検証31時間、受注者との連絡調整7.75時間) 令和7年度 47時間の増 (ごみ収集委託業者対応15.5時間、分析・最適化データ検証23.25時間、受注者との連絡調整7.75時間)</p>

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
		ごみ収集の最適化に係るノウハウを持った専門事業者に委託する。					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (R4年度～R5年度、R7年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	23,434					23,434
	総額	49,834					49,834
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	ごみ収集の最適化によるCO2の削減量					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値				84t	84t	
	成果指標及び目標値の説明	令和7年度の業務実施に向け、R5年度中に一旦分析・最適化を終え入札時の資料とし、R6年度に入札を行う。ごみ収集の最適化による業務開始年度であるR7年度において、車両削減によるCO2の削減効果は先進事例を参考に84t(1台あたり12t×7台)を見込んでいる。※毎年度削減効果が継続					

## 評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>福田小学校区コミュニティ協議会と協働して、福田小学校区(大浜町、小浦町、福田本町、小江町)において、協議会が選任した支援員が、高齢者等の利用者宅までのごみの個別収集と希望者に対する声かけを行うものである。</p> <p>ごみ出し支援の新たな仕組みづくりとして、地域の団体と協働し、支援の体制を構築するモデル事業として、本事業を実施するもので、今後、市全体への拡大も見込まれることから、事業の実施は適当である。</p>	